

シリーズ 福島市の縄文遺跡

第3回 仙台内前遺跡 (松川町)

福島市松川町水原の水原小学校の南側、約600mの場所にある縄文時代草創期(約12000年前)と縄文時代晩期(約2500年前頃)の遺跡です。

昭和62年に発掘調査が行われ、福島市内では最古となる家の跡(縄文時代草創期の竪穴住居1棟)と石器を製作した跡が見つかりました。

出土した土器も市内では最古級(約10000年前)のもので、草創期の爪形文土器と呼ばれているものです。出土した石器と土器は福島県重要文化財に指定されています。

縄文時代草創期の石器と土器(福島県指定重要文化財)

福島市内でも最古級の縄文土器です。この時期の土器は完全な形で見つかることがほとんどありませんが、全国的にも資料の点数が少ないため、破片資料も貴重な資料です。また、石器は一箇所からまとまった状態で見つかりました。

★★ 次回は、白山遺跡(飯野町)を紹介します ★★



1万年前の石器



1万年前の土器

用語解説

「土器捨て場」

縄文人が使わなくなった土器や石器、食べ物のカスなどを一箇所にまとめて捨てた場所が見つかることがあります。

宮畑遺跡では、土器がまとまって見つかった場所はありませんが、単なる土器捨て場ではないようです。宮畑遺跡の縄文人は、土器を単に捨てるのではなく、ていねいに土器を安置しているため、土器に宿る魂をまつための「もの送り」の場と考えられています。

「土偶」

縄文人が作成した粘土製の土人形のようなもので、ほとんどが女性を表現しています。中には胸やおなかが大きな表現をしているものも多く、出産のためのお守りとも言われています。



宮畑遺跡で見つかった土偶

編集後記

3月11日の東日本大震災を境に、私たちを取り巻く生活環境は大きく変わりました。原発事故による放射線量の問題は、日々の生活に様々な影を落とし、とりわけ未来をになう子供たちへの影響が心配されています。

このような状況の中ですが、今年も縄文探検隊が組織され、69名の子供たちが勾玉作りや遺跡探検の旅などの活動に参加しています。

特別展や公開講座も開かれる予定ですので、どうぞお楽しみに!



直径90cm! 宮畑遺跡のシンボル「掘立柱」

史跡 宮畑遺跡

じょーもぴあ 宮畑 だより 第4号 平成23年9月

発行: じょーもぴあ宮畑サポートネットワーク 事務局: 福島市教育委員会 文化課  
編集: 公開・発信・活用協力会 960-8601 福島市五老内町3番1号  
ガイドワークショップ部会 編集班 024-535-1111 内線 5375・5376

★ “じょーもぴあ”とは「縄文時代を身近に感じられるユートピアのような場所」の意味です

整備の様子をのぞいてみよう 第3回

露出展示施設の安定化処理を行っています。

現在、じょーもぴあ宮畑では、約3500年前の縄文人の「土器捨て場」(用語解説参照)を常時見学できる施設の整備を進めています。

平成19年度に、この場所の発掘調査を行い、完全な形の土器が良好な状態で沢山見つかりました。[写真①]。縄文人は平坦な場所には家を建て、斜面部には土器捨て場をつくっていることがわかりました。



【平成19年度の発掘】

平成22年度には、露出展示施設を建設しました。[写真②]施設ができたことにより、乾燥によるひび割れや雨水の流入を防ぐことができます。



【発掘の状態をそのまま見学できる施設】



【今年の発掘調査】

平成23年5月から約1ヶ月間、発掘調査を行いました。通常の発掘調査は屋外の作業ですが、今回の発掘調査は屋内での作業です。[写真③]



【発見された沢山の土器】

地中からは、完全な形の土器も沢山見つかりました。[写真④]



【注ぎ口のついた土器】

通常の発掘調査では出土した土器はすべて取り上げますが、今回は展示用にその場に残したままにして、常時見学ができるようにします。[写真⑤]また、遺跡の面は、乾燥によるひび割れ、湿気によるカビやコケを防ぐために薬品処理を行います。

今年、この他に、直径70cmの柱を使用した掘立柱建物、土ぶきの竪穴住居、石敷きの住居、子供のお墓のレプリカの復元展示整備、公園の北側の造成工事、駐車場整備工事を行う予定です。

じょーもぴあ宮畑の環境放射線測定値 1. 98マイクロバール/時間(芝生の広場、地上1m、8月23日)

【過去の測定値 2. 26(7月26日)、2. 47μ(6月21日)、2. 52(5月24日) 単位はいずれもマイクロバール/時間】

※ 毎週放射線量の測定を行い、その結果を福島市役所ホームページに掲載しています。http://www.city.fukushima.fukushima.jp/

# 上岡遺跡の土偶が 国の重要文化財に！

## 活動紹介（第3回）

### 縄文体験の補助を行っています

公開・発信・活用協力会の体験サポート部会では、縄文探検隊の活動補助や「遺跡探検の旅」の引率、宮畑遺跡に関連した行事でのまがたま勾玉作りや縄文土器作り、火おこし体験などの体験補助をしています。また、縄文時代のものづくりに関わる自主研修を行なっています。

#### 【体験指導の研修】

##### ○ 勾玉作り練習

子供たちに勾玉作りを教えるためには、まずは自分たちで練習しないと。



#### 【縄文探検隊の様子】

「なかなか音が出ないなあ？」



「土笛を吹くには、ちょっとしたコツがあるんだよ」



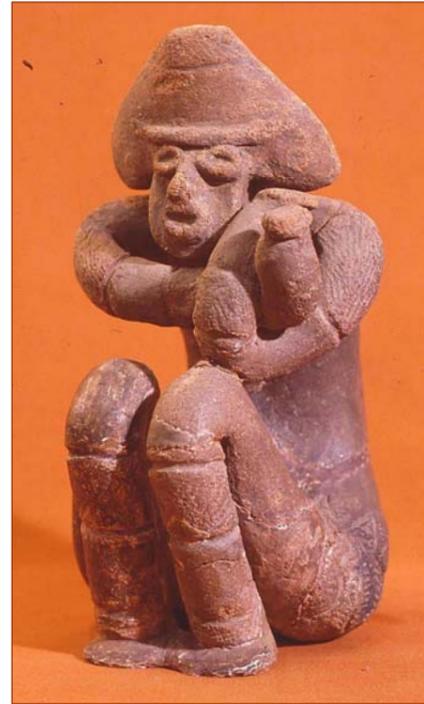
4年連続の参加です。縄文探検隊でまた楽しく活動したいと思い、応募しました。縄文時代の歴史はもちろんグループ活動でリーダー性と協調性を身につけたいです。



▲【縄文体験隊長】  
紺野慧海璃 くん  
福島第四中学校

### 国の重要文化財指定

## 上岡遺跡は どんな場所だったの？



上岡遺跡の土偶(高さ21.3cm)  
(平成23年6月27日、国重要文化財指定)  
平成21年度にはイギリスの大英博物館、  
上野の東京国立博物館の帰国展で展示  
されました。

福島市飯坂町東湯野にある縄文時代後期・晩期(約4000~2500年前頃)の遺跡です。

昭和27年の排水溝工事の際に、土偶が発見され、引き続き、当時の東湯野村教育委員会によって発掘調査が行われました。



▲ 昭和56年の発掘の様子

昭和56年の発掘ではたてあな竪穴住居、木の実などの水さらし場と考えられる木組み遺構が見つっています。

2度の発掘調査で大量の土器や石器、青森県のかめがおかしき亀ヶ岡式土器と同じ文様がつけられた土器、漆塗りの耳飾り、土偶などが見つっています。

重要文化財になった土偶は、乳房やふくらむ腹部から妊娠した女性を表現しているものですが、立てひざで座り、腕を組んだ珍しい形をしています。座った状態で出産している姿、子供をあやす姿を表現しているとも言われており、縄文人の祈りの心がこめられています。



▲ 土器に細やかな彫刻を施し、赤い漆を塗り仕上げています。

### 特別展

## 縄文人の祈りの世界 ～生命と送り～

日程：10月8日(土)から12月19日(月)  
会場：ふれあい歴史館

(福島市上町5-1)

上岡遺跡をはじめとして福島市内の出土土偶、県内外の土偶を展示し、縄文人の祈りの精神、縄文人の死生観について紹介します。

国宝や重要文化財の土偶のレプリカも展示されます。



### 公開講座

## 公開講座 「上岡土偶が語るもの」

日程：11月13日(日)午後2時から4時  
会場：A・O・Z 多目的ホール

約1万年間、縄文人が作り続けた土偶。縄文人は土偶にどのような想いを込めたのでしょうか。

講演：原田昌幸氏(文化庁美術学芸課)

対談：岡村道雄氏(奥松島縄文村歴史資料館名誉館長)

駒田晶子氏(歌人、福島市出身)

## 宮畑遺跡の発掘から整備まで

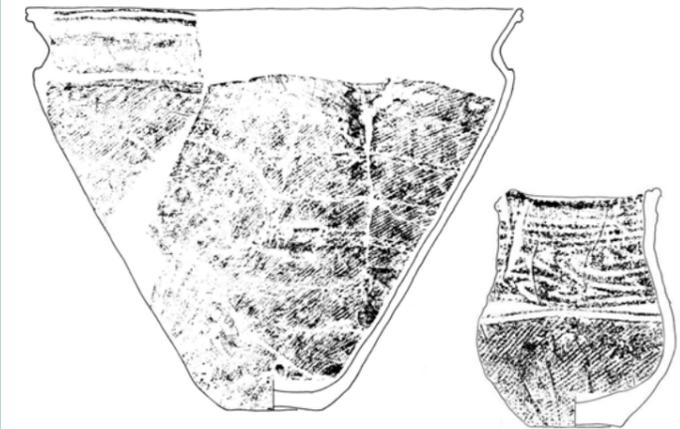
### 第3回「試掘調査で見つかった遺物」

第2回は、平成6年度の試掘調査の様子をお伝えしましたが、今回は試掘調査で出土した遺物についてです。

平成6年度の試掘調査では、縄文土器を中心に14万点以上(コンテナ約150箱分相当)の遺物が見つっていますが、発掘調査で見つかった遺物を観察した結果、以下のことがわかりました。

- ①最も古いものは縄文時代前期のはじめ頃(約6000年前)のもので、集落が作られる以前にも生活が営まれていました。
- ②出土遺物の中心となるのは後期(約3500年前)から晩期(約2500年前)にかけてのもので、深鉢と呼ばれる日常的に使用された煮炊き用の土器、浅鉢と呼ばれる盛りつけ用の土器や小形の壺などが見つかりました。
- ③縄文土器だけでなく、平安時代の土師器・須恵器と呼ばれる土器や、弥生土器の壺のかけらなども見つかりました。

遺物の観察により、宮畑遺跡では縄文時代だけでなく、長期間にわたり人々が生活していたことがわかりました。



縄文時代晩期の土器(今から約2500年前)

第4号は平成23年4月の発行を予定しておりましたが、諸般の事情により9月の発行となりましたことをご詫言申し上げます。

次号は、「現在のじょーもびあ宮畑の整備の様子」「この1年間の活動」等についてお知らせいたします(平成24年2月発行予定)